



〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 6-19-19 Myビル Tel.(043)287-2624 Fax.(043)287-2610  
ホームページ <http://mariyaclinic.com/> メール [info@mariyaclinic.com](mailto:info@mariyaclinic.com)

今年の桜は早かったようです。桜の散る中にたえずむと本当に感動してしまいます。その美しさに例えて、「散り際が大事。」などと引退や引継ぎなどの際の姿勢を深く始末することに引用されます。老いた者の晩年の生き方も問われます。永遠に生きる人はおりません。人生の決算は、その人の晩年の生き方で明らかになってくるように思います。

例ヨゼフが3月決算、クリニックが6月決算ですが、利益が出過ぎれば税金が高くなり、利益が出なければ組織は維持できません。院長の給料は、ネットで見ると下位の15%くらいになりそうです。その分、スタッフを他の医療機関よりもかなり多く雇っています。夫婦の会話では、あんなに収入を得て何に使うんだらう、と不思議に思っています。このビルを購入する時、銀行の課長さんから3時間ほど審査されました。既に取引が20年以上あり、私たちの収支は全てご存知で、更に趣味から生活方法、子育てまで質問をされました。そして、このような生き方をして来た私たち夫婦に銀行は貸さないわけにはいかない、更に査定を良くして下さい、改装資金も多めに貸してくれました。私は、死んだ後の裁きは知っているけれど、生きていても審査されるのだと思ったものです。借入れをしなければ事業はできません。

生きていくと、負い目や迷惑を掛けないで生きること難しいように思えます。「誰の世話にもならない。迷惑を掛けたことがない。」という自負を持って生きる方もおられますが、却って助けを求められない不都合な晩年になってしまいうこともあります。人の助けを得なければ、人生は立ち行きません。会社で決算が毎年あるように、私たちがも収支を確認しながら、差し押さえのないように生きることが大事です。

久しぶりに夫婦でゴルフをしたら、二人ともひどいスコアで、かなり疲れしました。雨上がりのコースで、バンカーも硬くなっており、起伏にも対応しなければなりません。自分ペースの運動だけでは、身体は弱くなるね、とお互いに気が付きました。「疲れるから嫌だ。」と自分のペースで疲れない事ばかりやっていると身体が脆くなり、筋肉も付かず、骨も脆くなります。子育ての頃は、おんぶに抱っこに荷物で働き続けました。仕事もきつく、休む暇もありませんでした。5人の子供たちはマイペースで生きています。それぞれの苦労もあるのではありません。若さと強さに驚きます。余裕を持って生きてこれなかった私たちは、互いの衰えが自らの至らなさ故のような気がして、申し訳なく労わり合っています。

桜の散る風情をゆつくりと楽しみお茶を飲むなんて、とてもできなかったことが、できるようになりました。神と、お世話になった方々に感謝しながら、尽きない会話をする味わいは、また格別なことです。

事務長 柏崎久雄

\* 感冒や咳などの症状があり、受診する方はマスクの着用をお願いしています。受付でも、成人用・小児用を販売しております。

\* 病児保育のご利用には、施設ごとの事前登録が必要です。毎年新学期前後の2月から5月にかけて、多くの方が登録に来られます。感染症も流行っている時期ですので、この時期の登録は特に、書類を事前記入のうえ、マスク着用し、お時間に余裕をもってご来所下さい。書類は、ホームページからのダウンロードが、当院1階受付で配布しています。

\* 栄養指導を当日の予約時間までにご連絡がなく、無断キャンセルした場合、10800円のキャンセル料が掛かります。なお、栄養指導料は3月より40分まで4000円(税別)に値上げされています。延長20分で2000円(税別)ですが、流れの中で説明が終わらない場合には追加料金はかかりません。ご質問が尽きず、時間を超える場合には適用となりません。詳細については、管理栄養士にお尋ねください。

\* 体組成計を健康管理にお役立て下さい。体脂肪量や筋肉量を始め、筋肉の左右バランス、内臓脂肪レベル、基礎代謝量、骨量などの測定ができます。栄養指導のご予約を頂いている方は無料で、その他の方は1回300円(税込)で測定できます。

\* 柏崎良子著『新・栄養医学ガイドブック』(2700円+税)の改訂が済み、4月10日より発売されます。

### 感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いにご協力ください。

- ★ 入口  
正面入口横の中央通路のインターホンを押して下さい。
- ★ 待合室・診察室  
2階の、第二待合室です。
- ★ 会計  
疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

### ヨゼフのキャンペーン

ペプタブ75 (店頭案内のみ)  
(5月15日(火)午前まで)

### 聖書を読む会

4月17日(火)午後2時~2時20分  
当院待合室にて行います。  
5月は15日(火)です。

## <患者さんと医療機関の関係>

日本は医師数は多くはないのですが、診療所は世界で一番多いそうです。誰でも簡単に医療機関に行って治療ができるということは、他国から来た人々は非常に驚いています。他国では、一般医に行って、その診断がないと、専門の医療機関には行けないので、最初の医師の判断によってかなり治療が左右されてしまいます。また、その専門治療に行くまでに時間と手間が掛かることも、困ったことであるとされています。治療費が高いことや、薬剤の処方までに手間が掛かることもあり、外国では医療機関に行かずに、民間療法や漢方やハーブ、サプリメントなどに頼ることも多いようです。日本の保険医療を真似ようとする国もありますが、アメリカのように、今から始めても医療費が嵩み、保険財政が破綻するので、なかなか導入できないようです。最近、外国人の患者さんが増えてきていますので、少し医療機関における患者さんへの対応をまとめてみました。大事なことは、医師任せにしないで、患者さんの側でも治療についての情報を求め、医療機関を選択し、なすべき治療について十分な理解と判断を行うということです。

### 1. 医療機関の違いと選択

#### ① 医療機関の選択

日本の医師及び看護師等のスタッフは、全て同じような教育と指導を受け、同じ試験に合格していますので、公立と私立による質の違いは基本的にありません。ただ、医療は非常に多くの知識と熟練が必要であり、一人の医師が担当できる専門分野は限られるので、幾つもの診療科目を標榜している医療機関の専門性は疑われることがあります。また、経験がないと診断や治療にも未熟なことがあります、他方、若い医師のほうが新しい医療技術や知識に詳しい場合もあります。

患者さんが多いのに、スタッフが少なかったり、補完機器が十分でない場合には、医療の質が低下することも予想されます。ITの導入は、その医療機関が工夫をしている証拠ですが、丁寧な医療を心掛ける医師がそれを否定するということもあります。医療機関で感染してしまう場合もあるので、その対策がされているかどうかチェックする必要があります。治療の内容についての質問に、丁寧に応えるかどうかは大事なチェックポイントです。

家庭医というものはイギリスではありましたが、現在は世界的になくなっており、世界的には General Practitioner(一般医、総合医)と、専門医あるいは大規模病院の専門治療に分かれてきています。そういう面では、日本の診療所制度というのは、非常に便利な制度であるとされています。ただ、最近進められている電子カルテの共有化では、どこの医療機関でも、どの患者さんにも同質の医療をするという方向で展開されているようです。つまり、特定の医療機関に患者さんが集中すると、その医療機関の治療の質が却って下がってしまうという可能性が懸念されるわけです。しかし、実際には、そのような目論見通りになるかどうか、わかりません。医師によって治療の質や内容が違うということは変えられないようにも思いますが、それをIT化によって実現しようとする試みがあるのも事実です。

#### ② かかりつけ医が制度的に始まります。

家庭医の登録をしたいという患者さんがたまに申し出てきますが、日本ではこれまで、そういうものはありませんでした。しかし、厚生労働省は、2018年1月10日の中央社会保険医療協議会総会に対し、かかりつけ医機能を有する医療機関における初診を評価する方針を打ち出しました。大病院の外来は紹介患者を中心とし、かかりつけ医機能を有する医療機関では一般的な外来受診に対応するという、外来の機能分化の推進が狙いです。

それを受け、4月からかかりつけ医に関して具体化し、初診料を800円上乗せすることになりました。小児かかりつけ診療料というもので、電話等による緊急の相談等に対してその医療機関が常時対応することを条件に加算されます。夜間・休日の対応については、地域の夜間休日の医療への相談への案内でも良いことになっています。当院の院長もその夜間・休日医療をも輪番で担当しています。しかしながら、当院としては、当面のところ、かかりつけ医としての加算はしないで、これまでと同じように診察をしていく予定です。皆さんには、診察料の加算はしないけれども、かかりつけ医なのだと考えてくださればと願います。

小児特定疾患カウンセリング料として、発達障害などについても18歳未満の認定患者であるならば、療養上必要なカウンセリングを行った場合に、2年を限度として算定できるようになりました。日常の相談が保険適用によりできるようになりました。

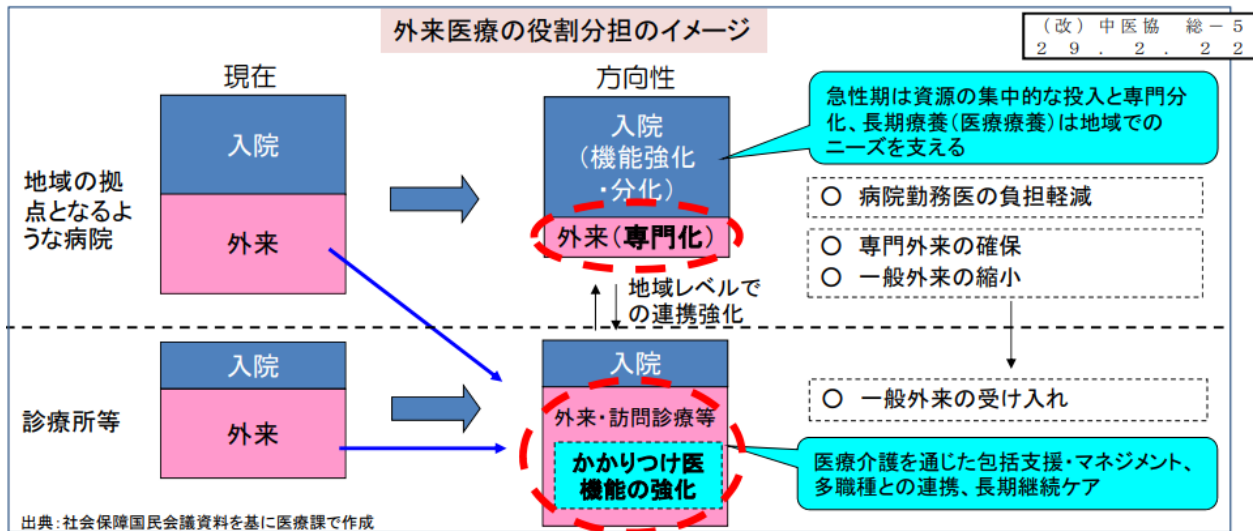
これらは、最寄りのかかりつけ医こそ、小児や発達障害児に迅速適宜に対応できるという理解のもと

で制度化され、その患者さんの負担を軽減するためにも有効であるということで決まりました。そのようなかかりつけ医には、その患者さんのデータが蓄積されており、大病院や専門病院に紹介し、その検査や治療の結果が報告されるようになっていきます。これに関する当院の対応も考慮中です。

## 外来医療の今後の方向性(イメージ)

社会保障制度改革国民会議報告書(H25年8月6日)抜粋

- 新しい提供体制は、利用者である患者が大病院、重装備病院への選好を今の形で続けたままでは機能しない
- フリーアクセスの基本は守りつつ、限りある医療資源を効率的に活用するという医療提供体制改革に即した観点からは、医療機関間の適切な役割分担を図るため、「緩やかなゲートキーパー機能」の導入は必要
- 大病院の外来は紹介患者を中心とし、一般的な外来受診は「かかりつけ医」に相談することを基本とするシステムの普及、定着は必須
- 医療の提供を受ける患者の側に、大病院にすぐに行かなくとも、気軽に相談できるという安心感を与える医療体制の方が望ましい



### ③ 医療機関と患者さんの関係

医療費については、専門的治療をする大規模医療機関には直接行かないように、制度的に大規模病院は料金を高くしておりますが、基本的に全ての医療費の枠組みは同じです。自由診療については、保険医療の料金と鑑みて、料金が設定されており、不当な料金は社会的に認められていません。

診療所で診察して、専門的な医療が必要だと判断された場合には、その診断に基づいた専門医療機関が紹介され、治療を受けることになります。高度な検査機器や治療機器を備える大規模病院とその患者さんの病歴や体質、そして家族の病歴などを知っており、また診断を身近にできる診療所などとの連携は日本独自の優れた医療環境です。

医療機関は、患者を差別し、医療の質を変えることは禁止されています。また、医療機関及びそのスタッフに余分な金銭或は物品を提供することによって、特別な扱いを要求することはできません。個人的事情を理解してもらうことはあり得ますが、そのことによって他の患者さんの治療に支障をきたすということもあるので、注意しなければなりません。患者さんにとっては、病気に至る心情や状況を詳しく説明し同情されたいと思うことはあるでしょうが、医師はそれらがどのように症状に関与しているかを分析しているので、観点が異なることも理解していただきたいことです。

ご自分の思い通りの対応が得られなかった場合に興奮する方もおられます。興奮され、説明を聞かずに声を荒げ、帰ってしまうこともあるようです。検査データや院長診察から説明資料を用意しているのに、「待たせる。遅い。」と腹を立ててしまう方が多いようです。ひどい場合には、診察料も払わずに帰ってしまう方もおられます。医療機関を代えていくほど、時間も費用も掛かり、治療も遅れるのですから、不審に思われたら、担当のスタッフに相談してください。

患者さんと医療機関の関係はふつう良好なものであり、患者さんは自分の要望を医師やスタッフに穏やかに伝え、医療機関はそれに誠実に応えています。

## 2. 診察について

現代の診察は検査が中心であり、体温計、聴診器、舌圧子、血圧計などによる診察と患者さんへの問



診を基本として、血液検査、尿検査、レントゲン検査、その他の検査をして、その結果を確認してから治療が始まります。一回だけで診察が終わることは、殆どありません。簡単な症状でも、重病の予兆である場合もあります。日本社会の長寿化は、そのような検査中心の医療が進んだことが理由の一つです。症状の原因を確認し、きちんと対処・治療しておくことが健康の維持には大事です。症状がなくなったからといって勝手に来院することを止めることは慎んだほうが良いでしょう。

## ● マリヤ・クリニックでの診察について

### 〔予約〕

保険診療、予防接種（一部除く）は予約なしでも受けられます。健診や、自由診療（栄養指導など）は、予約が必要です。特に自由診療では、検査結果を確認して、その診察方針や説明の内容などを予め打ち合わせる必要があります。栄養指導の場合には予約無しに来院されても、対応することができませんし、予約した患者さんの診察で時間が一杯です。

### 〔受付〕

診察券と保険証を提出し、来院した理由や症状をお伝えください。

予約の場合、時間に遅れる患者さんは殆どおりません。通常、10分前には来院しています。自由診療の予約は、診察前の栄養指導時間の予約です。栄養指導の時間で、前回からの症状の経過や食生活について確認しています。予約時間に遅れた場合には、この栄養指導を受けることができず、診察のみとなる場合があります。また、栄養指導は個々の患者さんの状態と診察の内容のために時間が掛かる場合があります。予約時間から多少前後する場合があります。待合室では、大声を出したり、騒いだりしないでください。他の患者さんや診療上迷惑を掛ける患者さんがいた場合には、退出してもらうこともあります。アルコールやタバコは禁止で、臭いや音のする物も禁止です。飲食をする場合には、人の迷惑にならないようにご配慮ください。

### 〔事前問診その他〕

現在の症状、治療中や過去に罹った病歴、アレルギー、体質、服用中の薬剤、漢方、そして家族の病歴なども治療情報として必要です。前もって調べておくとう良いでしょう。わからない場合、そのことに関して検査の必要が起り、治療が遅れることがあります。また、間違った情報を伝えた場合には、アレルギーなど医療事故になる可能性があるため、気をつけてください。あらかじめ確認している病気については、治療方針や検査の内容とその意味を説明します。

### 〔診察〕

医師は、前もって確認している検査データや、事前問診の結果について電子カルテを通じて確認しており、患者さんの診察では、更に必要とする問診や身体検査などをします。聞きたいことなどは、事前に伝えておいてください。検査データや診察から、医師は必要な処方を行います。

### 〔検査等〕

医師の診察に基づいて、血液検査、尿検査、レントゲン検査、エコー検査、心電図検査、その他の検査が行われます。なにか懸念することがある場合には、遠慮なく担当のスタッフにお伝えください。

### 〔処方・検査結果説明〕

栄養指導の患者さんは、処方や必要な栄養素、更に治療など、詳細は担当管理栄養士から説明されます。この説明に関して、分からないこと、できないこと、その他治療上に必要なことは遠慮なく聞いてください。追加検査が必要な場合には、その検査方法や料金も説明されます。

### 〔支払〕

受付窓口で、現金或はクレジットカードでお支払いください。処方箋も受け取ってください。なお、土曜の午後や、診療時間外の診察には時間外加算がされています。

### ＜ 診 療 時 間 ＞

月曜～金曜（午前8時30分～12時10分、午後2時30分～5時30分）

土曜（午前8時30分～12時10分、午後2時～4時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)